

令和8年度 篠山小学校学校経営方針

丹波篠山市立篠山小学校

1 校 訓 培 根 達 枝

2 学校経営理念 安全・安心な学校づくり

3 教育目標 つながり かがやき 笑顔あふれる ささやまっ子
—在りたい自分をみつけよう—

4 学校経営の基本方針

- 学校施設の安全管理・環境整備を図り、児童への安全意識や危機対応能力を高め、安全・安心な学校づくりを一層進める。
- いじめは人として決して許されない行為として、学校、家庭、地域が一体となって、一過性でなく、継続して、いじめ等の問題行動の未然防止・早期発見・早期対応に取り組む。
- 他者と関わる機会を工夫し、違いを認め合う仲間づくりや居場所づくりに取り組み自己肯定感・自己有用感を高める学校・学級づくりを進める。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実し「主体的・対話的で深い学び」「探究的な学習」に向けた授業改善に努める。
- 幼小中学校運営協議会を核とし「地域とともにある学校」づくりを推進し、地域の自然や人とのつながりや体験的な活動を通して、ふるさと篠山を愛する心を育てる。
- 学校運営を効率的・組織的に進め、働きがいのある学校づくりを進める。

5 めざす児童像（ささっ子けんぼう）

- あんぜん あんしん さいゆうせん
- やさしくよびます。～くん～さんと
- そうじ かたづけ きもちよく
- やくそく きまりは はなまるで
- こえかけ まなざし あたたかく

6 めざす学校像

- だれもが安心して過ごせる学校
- 主体的・対話的で深い学びができる学校
- 児童を多様な価値観や人とつなげる。
- 地域や保護者にとって「安心して子供を預けられ、誇りに思うことのできる学校」
- 教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいのある学校」

7 めざす教師像

- (1) 危機管理能力を高める教師
 - ・「報告・連絡・相談」を密にして、迅速・的確な対応で信頼される学校づくりを推進する教師。
- (2) 魅力ある授業を展開する教師
 - ・授業を公開し、児童の実態や学習内容に応じた教材の工夫や効果的な学習形態等の指導方法の工夫・改善を図る教師。
- (3) 教育的課題に取り組む教師
 - ・人権教育・道徳教育・防災教育・キャリア教育・プログラミング教育等の社会の変化に対応した教育課題に取り組む教師。
- (4) 家庭・地域と連携する教師

- ・ホームページや学校だよりを通して、積極的に本校の教育活動を発信し地域に開かれた学校づくりを進め、家庭や地域との信頼関係を確立する。

8 重点目標

(1) 安全で安心して学べる教育環境づくり

- ・安全管理の徹底と組織活動の充実のもと、安全への意識を高める安全教育を推進する。
- ・校内の整理整頓を行い、落ち着いて学べる環境をつくる。
- ・学習規律、気持ちのよい挨拶、時間の厳守など規範意識を高める。
- ・児童の達成感や自己有用感・自己肯定感を高め、学級が安心できる居場所となるよう、一人一人の個性を十分に理解し、それぞれが活躍できる機会をつくる。

(2) 生徒指導における協働体制の確立

- ・児童の小さな変化を敏感に察知し、チームとして、情報交換や連携を密にし温かい人間関係が築けるように支援する。
- ・いじめ等の問題行動には、チームで迅速かつ組織的に対応する体制を構築する。
- ・保護者、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等と連携し、児童生徒の日常生活における変化に気を配り、校内教育相談体制を充実する。

(3) 豊かな人間関係や人権感覚の育成

- ・ユニバーサルデザインの教室・授業づくり等、多様性を尊重した学級づくりを行う。
- ・様々な心身の特性や考え方をもち全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションを図り、支え合うことができるよう個別の支援計画をもとに支援を行う。
- ・道徳科を中心とした道徳教育を充実させ、規範意識や道徳性を高める

(4) 言語活動を充実し確かな学力の定着を図る

- ・ゴールが見える授業づくり。「やってみよう」「できた」「もっとしてみたい」を大切にする。
- ・学習習慣や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ・「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」へと導く授業の工夫と実践。
- ・各教科における ICT を活用した学習活動の工夫と実践

(5) 地域とともにある学校の推進

- ・学校運営協議会を核として、学校、家庭、地域が連携を密にし、社会全体で子どもたちの「生きる力」を育む環境づくりに努める。
- ・子ども自身やホームページや学校だよりを通して、積極的に本校の教育活動を発信し地域に開かれた学校づくりを進める。
- ・地域人材の積極的な活用を図り、学校・家庭・地域が共に学び合う学習機会を作る。

(6) 働きがいのある職場づくり

- ・ワーク・ライフ・バランスに努め、教職員が生き生きと働き、そのことが学校教育のつながるように全教職員の共通意識で学校運営に努める。
- ・業務改善の視点でこれまでの活動を見直し、「何ができるか」を考え、実践する。